令和３年度　２学期始業式の言葉

２学期が始まりました。まずは皆さんに花丸をあげます。理由は３つです。

１つめは夏休み中、怪我や病気や事故などの報告もなく、元気に過ごせたからです。２つめは、今日、全校児童が全員元気に登校できたからです。そして３つめは、久しぶりに校歌を歌いましたが、とてもきれいな声で歌うことができたからです。

さて、夏休み中に､オリンピックや今開催されているパラリンピックを見て、たくさんのスポーツについて学び､たくさんの感動をもらったことと思います。校長先生が、オリンピックとパラリンピックから学んだことや感じたこと３つについてお話をします。

１つめは、「目標に向かってあきらめずに挑戦することの大切さ」です。メダルが取れなかったとしても、目標に向かって頑張ってきた過程がとてもすばらしいことだと思います。結果より過程を大切にしたいと思います。

２つめは、「支えてくれる人への感謝の気持ちを持つことの大切さ」です。どの選手のインタビューでも支えてくれた人への感謝の気持ちを伝えています。もちろん自分の努力の成果だと思いますが、自分を支えて応援してくれた家族や指導者、スタッフの皆さんがいたからこそ頑張れたのだと思います。その人達に喜んでもらいたくて頑張ったといっても過言ではないと思います。

３つめは、「いろんなことに挑戦してやればできる自分を発見すること」です。パラリンピックでは、体にいろいろな障害を持った人達や周りの人達が、不可能だと思うようなことを可能にして頑張っている姿がすばらしいと思います。それは、それぞれ顔や体の大きさなど外見が違うように､体の障害も一つの個性として受け入れ、体が不自由だからできないのではなく、不自由だけどできるスポーツ、やりたいスポーツを見つけて挑戦し、やれる自分を発見しているのです。まさにみんなが１学期に取り組んだ「良いことをどんどんする」のレベルアップの「いろんなことに挑戦し､やればできる自分を発見しよう」と同じことです。

皆さんも、それぞれオリンピックやパラリンピックから学んだことをこれからに生かしほしいと思います。

２学期は、「命を大切にする」のレベルアップとして「違いを認め合う」ことを目指してください。平和集会でも話をしましたが、自分と違う外見や行動、考え方や感じ方の違いを否定せず、まずは受け止めましょう。そして相手の立場に立って考えて、相手のことを認めることが大切です。その上で、「自分だったら、こう考えるよ。」と自分の考えをはっきり相手に伝えることもとても大事なことです。お互いの気持ちを伝え合い､認め合い､そして時にはアドバイスをしたり､人のアドバイスも受け入れられる素敵な友達関係を作ってほしいと思います。

２学期も頑張りましょう。　　　　　　校長　　　永草　いづみ